



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社
コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務

四半期報告書提出予定日 平成28年11月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 長谷川 吉弘

(氏名) 金城 照夫

配当支払開始予定日

TEL 06-6201-2461

平成28年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	36,191	△12.5	2,007	64.2	1,674	△23.7	1,122	△8.1
28年3月期第2四半期	41,373	0.9	1,222	53.6	2,194	659.5	1,221	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △291百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △492百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	43.27	—
28年3月期第2四半期	47.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	66,735	30,802	43.3
28年3月期	70,772	31,362	41.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 28,881百万円 28年3月期 29,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
29年3月期	—	8.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	△11.1	3,600	47.7	3,300	2.3	2,000	63.6	77.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	26,080,396 株	28年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	131,932 株	28年3月期	131,882 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	25,948,492 株	28年3月期2Q	25,948,704 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
参考資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済の景気は回復が続きました。中国経済の景気は緩やかに減速しました。一方、日本経済は、雇用が引き続き、堅調に改善となり、設備投資は持ち直したものの、企業収益の改善は、足踏み状態で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境は、海外事業につきましては、欧米を主力市場とするローター社の売上高は、為替の影響及び、原材料価格の下落による販売価格の修正があり、前年同四半期に比べ減少しました。しかしながら、コスト削減等により、利益は回復しました。国内事業につきましては、販売数量の減少に伴い、売上高は減少したものの、利益面では、前年並みとなりました。

その結果、当社の当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は361億9千1百万円となり、前年同四半期に比べ51億8千2百万円(△12.5%)の減収となりました。

利益面では、営業利益は20億7百万円となり、前年同四半期に比べ7億8千5百万円(64.2%)の増益となりました。経常利益は為替差損3億3千6百万円等により、16億7千4百万円となり、前年同四半期に比べ5億1千9百万円(△23.7%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億2千2百万円となり、前年同四半期に比べ9千9百万円(△8.1%)の減益となりました。

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、部門別の業績をより適切に評価するために費用の配賦基準を変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の営業利益を変更後の営業利益に置き換えて比較しております。

①樹脂化成品

印刷インキ業界、塗料業界ともに生産量が伸びず、この影響を受け当部門の印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂ともに前年同四半期に比べ売上高が減少しました。

自動車タイヤ等に使用される合成ゴムの生産量が伸びず、当部門の合成ゴム製造に使用される乳化剤は、前年同四半期に比べ売上高が減少しました。

その結果、当部門の売上高は、92億7百万円となり、前年同四半期に比べ8億7千8百万円(△8.7%)の減収となりました。当部門の営業利益は4億5千7百万円と前年同四半期に比べ3千4百万円(△7.0%)の減益となりました。

②製紙用薬品

国内の製紙業界は、板紙生産量が前年同四半期に比べやや増加しましたが、印刷情報用紙は減少しました。米国は、新聞、印刷情報用紙の需要減少が続いており、紙・板紙生産量は減少しました。一方、中国の紙・板紙生産量は増加しました。

当部門におきましては、売上高は国内外で前年同四半期を下回りましたが、利益面では中国子会社が堅調に推移しました。

その結果、当部門の売上高は、81億8千6百万円となり、前年同四半期に比べ8億5千7百万円(△9.5%)の減収となりました。また、当部門の営業利益は中国子会社の利益増加が寄与し、8億5千1百万円と前年同四半期に比べ7千6百万円(9.8%)の増益となりました。

③電子材料

当部門が主に関連する自動車業界の上半期累計での自動車販売台数は、欧州、北米、中国は、前年同期比を上回ったものの、国内は熊本地震などの影響もあり下回りました。

当部門では自動車熱交換器用のろう付け材料の売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、半導体用機能性樹脂、導電性ペーストの販売が増加し、売上高が前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当部門の売上高は、26億4千7百万円となり、前年同四半期に比べ1億2千5百万円(5.0%)の増収となりました。当部門の営業利益は1億3千3百万円と前年同四半期に比べ4百万円(3.4%)の増益となりました。

④ローター

当部門の主要製品である粘接着剤用樹脂は、欧州、アジアは、前年同四半期に比べ販売数量が増加しましたが、北米ならびにその他の地域では、低調に推移し、全体としては、前年同四半期に比べ販売数量が減少いたしました。

一方、印刷インキ用樹脂は、世界的に情報のデジタル化を背景として需要が低迷しておりますが、主力である欧州では、主原料であるトルロジンの安定的な調達が始まったこともあり、堅調に推移しました。南米、アジアでは低調に推移しましたが、欧州、北米が好調に推移したことにより、全体としては、販売数量が前年同四半期に比べ上回りました。

しかしながら、主原料であるロジン価格の世界的な下落に伴う販売価格競争が継続し、売上高は減少しましたが、合理化、コスト削減に努めた結果、利益面では前年同四半期に比べ大幅に改善しました。

その結果、当部門の売上高は152億4千万円で、前年同四半期に比べ36億1千5百万円（△19.2%）の減収となりました。利益面では主原料の安定供給が始まったことによる欧州事業の改善が大きく寄与した結果、当部門の営業利益は5億8千9百万円（前年同四半期は営業損失2億2千9百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当連結会計年度の総資産は前期末に比べ40億3千6百万円の減少となりました。自己資本比率は43.3%となりました。増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が8億5千6百万円増加したものの、売上高の減少に伴い受取手形及び売掛金が16億3千8百万円減少し、主原料の価格低下に伴い、商品及び製品が8億8千6百万円減少、原材料及び貯蔵品が9億1千9百万円減少しました。負債では短期借入金が1億5千3百万円増加したものの、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）は返済及び為替の影響により24億6千7百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は、緩やかながらも回復すると見込まれますが、米国の金融政策の影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、英国のEU離脱問題に伴う先行き不透明感の高まりによる影響など不透明な状況が続いております。

日本経済においては、所得や雇用の改善により緩やかな回復傾向にあるものの、当社グループにおきましては為替変動など不透明な事業環境が続くことが見込まれます。

このような環境下、海外売上高比率が約60%を占める当社グループは、グローバルに展開する拠点網を活かし、世界各地域の経営環境や顧客ニーズの変化を的確に捉え、当年度を初年度とする、「中期経営計画 NEW HARIMA 2018」では、当社基盤事業において市場開拓及び新製品構築を優先して実施する項目を次のように分類して、新規事業の創出に繋げていきます。

①市場開拓は当社製品の競争力を活かし、成長が期待できる国内外市場を積極的に開拓します。

②新製品構築は基盤事業で培ったコア技術を基に顧客ニーズに合致した新製品を構築します。

③新規事業は当社に不足している技術、製品及び市場に関してM&A投資も含め成長市場での事業展開を目指します。

なお、当期（2016年4月1日から2017年3月31日）の通期の業績予想につきましては、本日（2016年10月28日）付で開示しております「第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で数値を修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,886,421	6,742,488
受取手形及び売掛金	18,993,378	17,355,319
商品及び製品	6,105,303	5,219,109
原材料及び貯蔵品	6,093,189	5,173,819
その他	1,936,995	2,114,292
貸倒引当金	△80,482	△95,058
流動資産合計	38,934,805	36,509,971
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,645,375	9,351,117
その他(純額)	13,544,167	12,467,475
有形固定資産合計	23,189,543	21,818,592
無形固定資産		
その他	1,179,968	1,086,211
無形固定資産合計	1,179,968	1,086,211
投資その他の資産		
その他	7,475,354	7,328,080
貸倒引当金	△7,228	△7,228
投資その他の資産合計	7,468,126	7,320,852
固定資産合計	31,837,638	30,225,656
資産合計	70,772,444	66,735,628

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,879,291	7,895,175
短期借入金	8,185,837	8,339,540
1年内返済予定の長期借入金	2,341,220	1,405,820
未払法人税等	282,136	401,943
役員賞与引当金	49,450	38,480
その他	3,644,379	2,966,623
流動負債合計	22,382,314	21,047,583
固定負債		
長期借入金	11,743,069	10,210,540
長期預り保証金	752,981	745,781
役員退職慰労引当金	398,247	394,477
退職給付に係る負債	1,604,373	1,011,101
資産除去債務	47,958	48,126
その他	2,481,328	2,475,876
固定負債合計	17,027,958	14,885,903
負債合計	39,410,273	35,933,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,744,379	9,744,016
利益剰余金	9,334,197	10,275,310
自己株式	△62,316	△62,342
株主資本合計	29,029,211	29,969,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,002,471	1,222,887
為替換算調整勘定	△319,712	△2,131,014
退職給付に係る調整累計額	△477,092	△180,600
その他の包括利益累計額合計	205,666	△1,088,728
非支配株主持分	2,127,292	1,920,933
純資産合計	31,362,170	30,802,141
負債純資産合計	70,772,444	66,735,628

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)
売上高	41,373,843	36,191,314
売上原価	33,147,418	27,585,453
売上総利益	8,226,424	8,605,861
販売費及び一般管理費	7,004,214	6,598,440
営業利益	1,222,210	2,007,420
営業外収益		
受取利息	24,500	26,555
受取配当金	38,560	39,798
不動産賃貸料	57,385	58,031
為替差益	862,776	—
その他	209,708	98,865
営業外収益合計	1,192,931	223,251
営業外費用		
支払利息	179,958	168,176
為替差損	—	336,179
その他	40,889	51,480
営業外費用合計	220,847	555,836
経常利益	2,194,293	1,674,836
特別損失		
減損損失	—	12,270
特別損失合計	—	12,270
税金等調整前四半期純利益	2,194,293	1,662,565
法人税、住民税及び事業税	500,804	412,872
法人税等調整額	341,644	△25,080
法人税等合計	842,448	387,791
四半期純利益	1,351,844	1,274,773
非支配株主に帰属する四半期純利益	129,882	152,021
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,221,962	1,122,752

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)
四半期純利益	1,351,844	1,274,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△379,059	220,414
為替換算調整勘定	△1,546,173	△2,090,406
退職給付に係る調整額	81,259	303,717
持分法適用会社に対する持分相当額	13	0
その他の包括利益合計	△1,843,960	△1,566,272
四半期包括利益	△492,115	△291,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△645,677	△171,642
非支配株主に係る四半期包括利益	153,562	△119,856

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,194,293	1,662,565
減価償却費	1,040,656	1,012,532
減損損失	—	12,270
のれん償却額	43,607	43,607
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,300	△10,970
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,140	23,949
受取利息及び受取配当金	△63,060	△66,354
支払利息	179,958	168,176
為替差損益 (△は益)	△879,356	348,895
持分法による投資損益 (△は益)	△17,627	△18,995
有形固定資産売却損益 (△は益)	△59,351	1,865
売上債権の増減額 (△は増加)	204,898	497,990
たな卸資産の増減額 (△は増加)	774,416	783,552
仕入債務の増減額 (△は減少)	△762,140	622,222
その他	△27,933	△726,441
小計	2,632,518	4,354,866
利息及び配当金の受取額	71,757	77,781
利息の支払額	△181,049	△161,455
法人税等の支払額	△416,008	△290,371
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,107,218	3,980,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,203,837	△1,141,349
有形固定資産の売却による収入	98,825	3,636
投資有価証券の取得による支出	△2,666	△331,468
投資有価証券の売却による収入	—	200,910
貸付金の回収による収入	799	709
その他	△99,070	△314,381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,205,949	△1,581,942
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,737,517	436,771
長期借入れによる収入	8,468,302	—
長期借入金の返済による支出	△7,511,770	△1,211,810
配当金の支払額	△181,641	△181,639
非支配株主への配当金の支払額	△40,950	△58,456
預り保証金の返還による支出	△40,350	△8,012
その他	△43,202	△41,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,087,129	△1,064,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,236	△719,740
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△201,097	614,681
現金及び現金同等物の期首残高	5,435,536	5,880,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,234,439	6,495,407

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	10,086,897	9,044,614	2,521,843	18,856,216	40,509,571	826,153	41,335,725	38,118	41,373,843
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	283,327	223,067	—	149,227	655,622	71,129	726,751	△726,751	—
計	10,370,224	9,267,682	2,521,843	19,005,443	41,165,193	897,283	42,062,477	△688,633	41,373,843
セグメント利益又は損失(△)	492,130	774,829	129,151	△229,053	1,167,057	△5,710	1,161,347	60,862	1,222,210

II 当第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	9,207,930	8,186,934	2,647,448	15,240,414	35,282,728	869,019	36,151,748	39,566	36,191,314
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	127,852	127,934	—	84,448	340,235	71,002	411,237	△411,237	—
計	9,335,782	8,314,869	2,647,448	15,324,863	35,622,963	940,022	36,562,985	△371,671	36,191,314
セグメント利益	457,497	851,045	133,569	589,154	2,031,266	9,031	2,040,298	△32,877	2,007,420

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

III 報告セグメントの変更等に関する事項(セグメント利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、セグメントの業績をより適切に評価するために費用の配賦基準を変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後の配賦基準に基づき作成したものを開示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2017年3月期 第2四半期決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2016/3期		2017/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	12.8億円	29.7億円	11.1億円	26.0億円

2. 減価償却実施額

	2016/3期		2017/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	10.4億円	21.2億円	10.1億円	23.0億円

3. セグメント別売上高

	2016/3期		2017/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	100.8億円	200.9億円	92.0億円	185.0億円
製紙用薬品	90.4億円	181.3億円	81.8億円	171.0億円
電子材料	25.2億円	50.0億円	26.4億円	54.0億円
ローター	188.5億円	361.2億円	152.4億円	293.0億円
その他	8.2億円	16.4億円	8.6億円	17.0億円
調整額	0.3億円	△0.1億円	0.3億円	-
合計	413.7億円	809.7億円	361.9億円	720.0億円

4. 海外売上高

	2016/3期		2017/3期	
	第2四半期(実績)		第2四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	98.1億円	23.7%	76.5億円	21.1%
欧州	78.4億円	19.0%	70.2億円	19.5%
アジア、オセアニア	76.0億円	18.4%	61.6億円	17.0%
合計	252.6億円	61.1%	208.4億円	57.6%